

## アイルランド情報通信技術(ICT)産業の概要

### 意外と知られていない事実。グローバル上位10社が進出しているアイルランド

アイルランドは世界有数のグローバルテクノロジーハブで、世界最大のコンピューターおよび情報サービスの輸出国です(※2)。アイルランドには主要なグローバルICT/IT企業が進出しており、「インターネット企業上位10社」も拠点を置いています。1950年のIBM進出から、2016年のグーグルによるアイルランド国内第2のデータセンター開設(本日2016年8月1日発表のプレスリリース参照)に至るまで、マイクロソフト、アマゾン、フェイスブック、アップル各社によるデータセンター関連の最近の発表を含め、長い歴史を誇ります。

アイルランドの主要ICT/IT業界の中には、ソフトウェア開発、電子機器・半導体、電気通信、データセンター、クラウドコンピューティング、ビッグデータ/データアナリティクス、IoT/AI、フィンテック、サイバーセキュリティ、スマートシティ、スマートヘルス、インターネット、デジタルマーケティング、ゲーム、Eコマースなどが含まれます。

アイルランドは40年余りにわたり技術系グローバル企業と協力し、企業の国際業務展開のための競争力の高い環境の整備に尽力してきました。この間に、インテル、IBM、マイクロソフト、リンクトイン、エアビーアンドビー、オラクル、SAP、イーベイ/ペイパル、グーグル、アマゾン、フェイスブック、ツイッターといった欧米企業や、アルプス電気、富士通、楽天(Kobo)、リクルート(Indeed.Com)といった日系企業が、EMEA(欧州中東アフリカ)地域の顧客に製品とサービスを届けるための戦略的拠点としてアイルランドを選んできました。

アイルランド政府産業開発庁では、同国に進出する企業一覧を公開しています。下記リンクをご参照ください。  
<http://www.idaireland.com/business-in-ireland/company-listing/>

上記企業が展開している業務内容は多岐にわたりますが、特徴的なのは、アイルランドを国際市場向けのサービス提供拠点と位置づけ、営業販売、経理財務、法務、顧客サポート、ソフトウェア研究開発・技術革新(RD&I)などの機能を置いていることです。こうした部門の技術専門職の25%はアイルランド国外の外国人となっており、アイルランドが欧州全土から人材を引き付ける能力があることを浮き彫りにしています。

このような業務でこれほど幅広い外国ハイテク企業が拠点を置いているところは欧州の中でアイルランドの他には存在しません。

### Why Ireland? アイルランドの強み

外国企業がアイルランドに進出するのは、高技能多言語の労働力、5億人規模のEU市場への自由なアクセス、EUで数少ない英語圏、ユーロ通貨の採用、OECDガイドラインに準拠した法人税12.5%、データ保護法、そして企業寄りの安定した政治、規制、法務環境ゆえです。また、人口の4割が30歳未満と欧州でも若年人口最多国に数えられます。さらには、アイルランドでは大学までの学費が無料のため大学進学率が高いのも特徴です。

アイルランドはまた 25%の研究開発税額控除、研究開発費 15%の補助金交付、雇用助成金といった財務的優遇措置も提供しています。

※2 OECD Digital Economy Outlook 2015

アイルランドに進出している ICT 企業の一部



アイルランドにおけるグローバル ICT/IT 企業の主要投資動向 (2016 年上半期)

◆アマゾン(Amazon)社、アイルランド国内で高技能職 500 人の新規雇用を創出 (2016 年 5 月 30 日)

アマゾン社はアイルランド国内で、データセンター技術者、ソフトウェアエンジニア、カスタマーサポート要員等の高技能職 500 名を、ダブリンの複数の施設で今後 2 年間かけて採用することを発表しました。ダブリンは、同社のリテール業務、デバイスおよびアマゾンウェブサービス(AWS)等複数の業務を支援する新規テクノロジー開発拠点となっています。詳細: <http://www.idaireland.jp/newsroom/amazon/>

◆Slack 社、ダブリン内に欧州統括本部を移転、80 人の新規雇用を発表 (2016 年 4 月 13 日)

エンタープライズ向けメッセージアプリケーションを提供する Slack 社はダブリンの One Park Place に欧州統括本部の移転を済ませ、増え続ける欧州企業からの需要に応えるために今後 2 年間で 80 人を新規雇用すると発表しました。詳細: <http://www.idaireland.jp/newsroom/slack/>

◆HubSpot 社、ダブリンに新しいオフィスを開設、今後 3 年間で 320 人を新たに採用 (2016 年 4 月 4 日)

インバウンドマーケティングおよびセールスソフトウェアの大手企業 HubSpot 社は、3 年前にダブリンに EMEA(同社欧州・中東・アジア)本部を設立しましたが、ビジネスの成長に対応するため、現在のオフィスのすぐ近くに、新たにオフィスを開設すると発表しました。詳細: <http://www.idaireland.jp/newsroom/hubspot3320/>

◆フェイスブック(Facebook)社、ダブリンの国際統括本部で 200 人を新規雇用 (2016 年 3 月 14 日)

フェイスブック社はダブリンで 200 人の正社員を新たに雇用すると発表しました。2016 年末までに採用を終え、国際統括本部の従業員総数を 1,500 人に引き上げる見通しです。また、シリコン・ドックス地区にある同社社屋面積を 25 万フィート(約 2 万 3 千平米)へと倍増し、最大 2,000 人まで雇用が可能になる体制を整えました。

詳細: <http://www.idaireland.jp/newsroom/facebook/>

◆PayPal 社、ダブリンで新たに 100 人を雇用 (2016 年 3 月 3 日)

Paypal 社は、ダブリンにある EMEA オペレーションズ・センターにおいて、2016 年 4 月中旬までに 100 名を新たに雇用すると発表しました。同社は 2003 年にダブリンにオフィスを開設し、25 人でスタートしましたが、現在は、ダブリンとダンドークの 2 箇所にオフィスを構え、従業員約 2,400 人までの規模に成長しました。

詳細: <http://www.idaireland.jp/newsroom/paypal/>

◆オラクル(Oracle)社、欧州・中東・アジア地域で 1,400 人のクラウド営業人員を採用、アイルランドでは 450 人を新規採用 (2016 年 1 月 14 日)

オラクル社は、EMEA 地域全体で 1,400 人の営業人員を新たに採用し、同社のクラウドビジネスの成長に拍車をかけると発表しました。これには、同社がつい最近ダブリンに開設したばかりの最新鋭オフィスで採用する予定の 450 人も含まれています。詳細: <http://www.idaireland.jp/newsroom/oracle/>

###